



成長可能性に関する説明資料

株式会社ビーブレイクシステムズ
(証券コード：3986)

平成29年6月

- 1. 会社概要
- 2. 当社の強み
- 3. 市場動向
- 4. 成長戦略



1. 会社概要

会社名	株式会社ビーブレイクシステムズ
設立	平成14年7月
資本金	6,000万円
代表	代表取締役社長 白岩 次郎
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・パッケージ事業 サービス業向けクラウドERP「MA-EYES」等の開発・提供・システムインテグレーション事業 システムの受託開発及びIT技術者派遣
本社所在地	東京都品川区西五反田2-19-3 五反田第一生命ビル
拠点	関西支社(大阪市中央区) 名古屋営業所(名古屋市西区)
従業員数	130名 (平成29年5月末時点)
社名の由来	情報システムを構築する際の障害 (“B”arrier)や境界 (“B”order)を破壊する (Break) ことを実現したいとの願いを込めてビーブレイクシステムズと命名。

代表取締役社長
白岩 次郎 (しらいわ じろう)

昭和48年 生まれ 上智大学卒業
平成 7年 (株)東海銀行 (現(株)三菱東京UFJ銀行) 入社
平成10年 SAPジャパン(株)※入社
平成14年 当社設立 代表取締役に就任

取締役 (開発部門担当)
上川 伸彦 (かみかわ のぶひこ)

昭和47年 生まれ 上智大学大学院修了
平成 9年 (株)日立製作所入社
平成14年 当社設立 取締役に就任

※SAPジャパン株式会社
ドイツに本社を置く世界的大手
ERPベンダーの日本法人

取締役 (営業部門担当)
高橋 明 (たかはし あきら)

昭和49年 生まれ 早稲田大学卒業
平成 9年 日興証券(株) (現SMBC日興証券(株)) 入社
平成14年 当社設立 取締役に就任

取締役 (パッケージ導入担当)
鹿取 裕樹 (かとり ひろき)

昭和51年 生まれ 早稲田大学卒業
平成11年 SAPジャパン(株)※入社
平成14年 当社設立 取締役に就任

取締役 (管理部門担当)
熊田 圭一郎 (くまだ けいいちろう)

昭和47年 生まれ 東京工業大学卒業
平成 7年 (株)東海銀行 (現(株)三菱東京UFJ銀行) 入社
平成19年 当社入社 管理部長に就任
平成28年 取締役に就任

- 経営理念

世界が認めるシステム構築の仕組みを
世に広め、社会の発展に貢献する

- 長期的ビジョン

「アジアERP No.1」

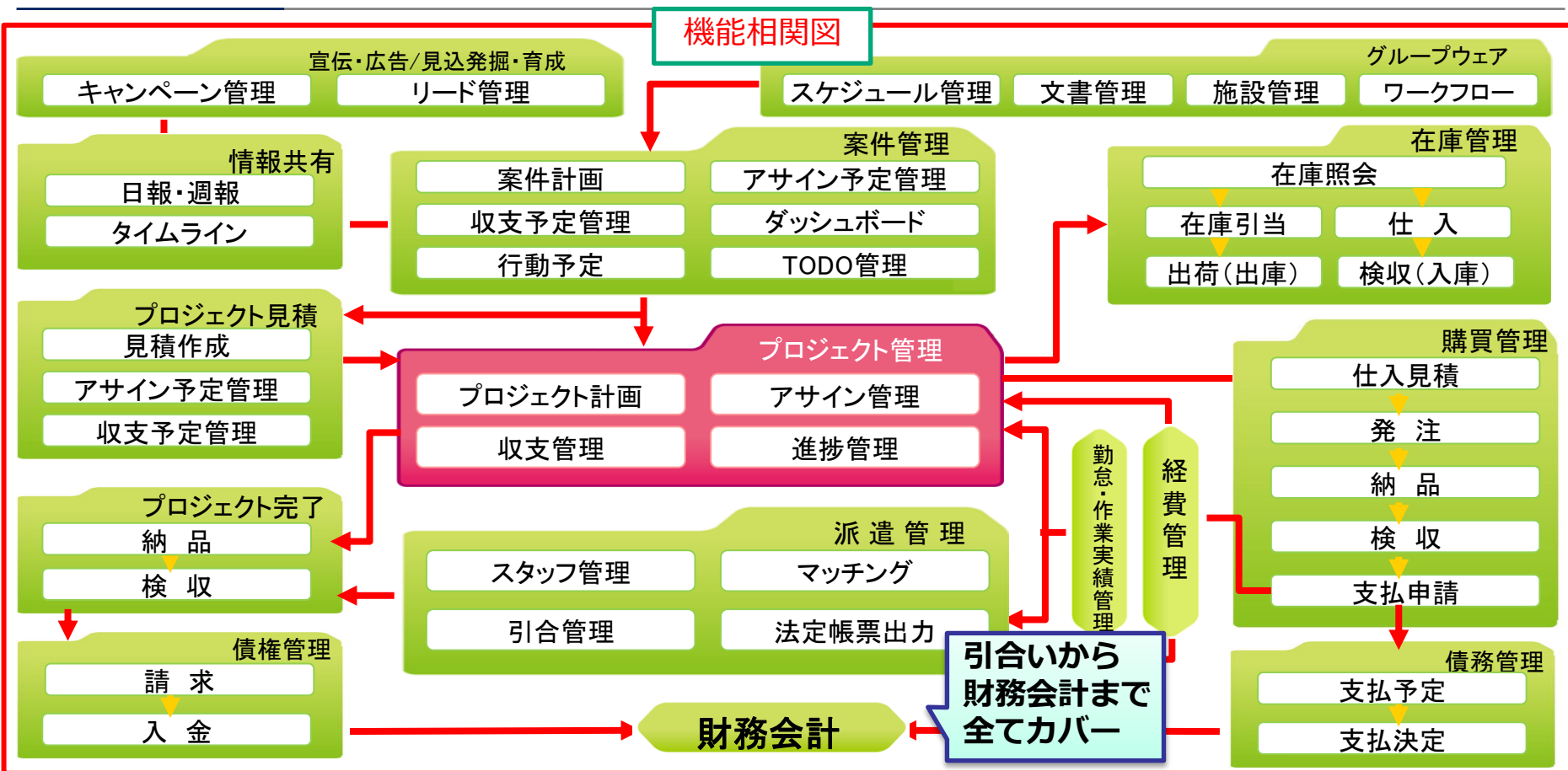
パッケージ事業

主要製品・サービス	ターゲット	提供形態
<p>クラウドERP※ MA-EYES (エムエーアイズ)</p> <p>※ERPは、経営資源の有効活用の観点から企業全体を統合的に管理し、経営の効率化を図るための統合型基幹業務パッケージソフトウェア。</p>	<p>サービス業、特に労働集約型・プロジェクト型の業種に特化 <主要5業種> システム・派遣・広告・インターネット・コンサル 規模：大企業～中小企業</p>	<p>○SaaS</p> <p>○プライベートクラウド</p>
<p>海外拠点統合管理システム GLOBAL EYES</p>	<p>海外拠点を複数持つグローバル企業</p>	<p>○SaaS</p>

システムインテグレーション事業(SI事業)

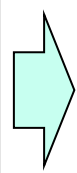
- ・ 大手ITサービス提供企業及び大手・中堅SIerの開発案件に参画し、顧客企業先にて顧客システムの開発を行う事業。
- ・ 参画する案件を、Javaの開発案件に特化することで技術的に差別化。

クラウドERP「MA-EYES」のイメージ



解決できる経営課題：

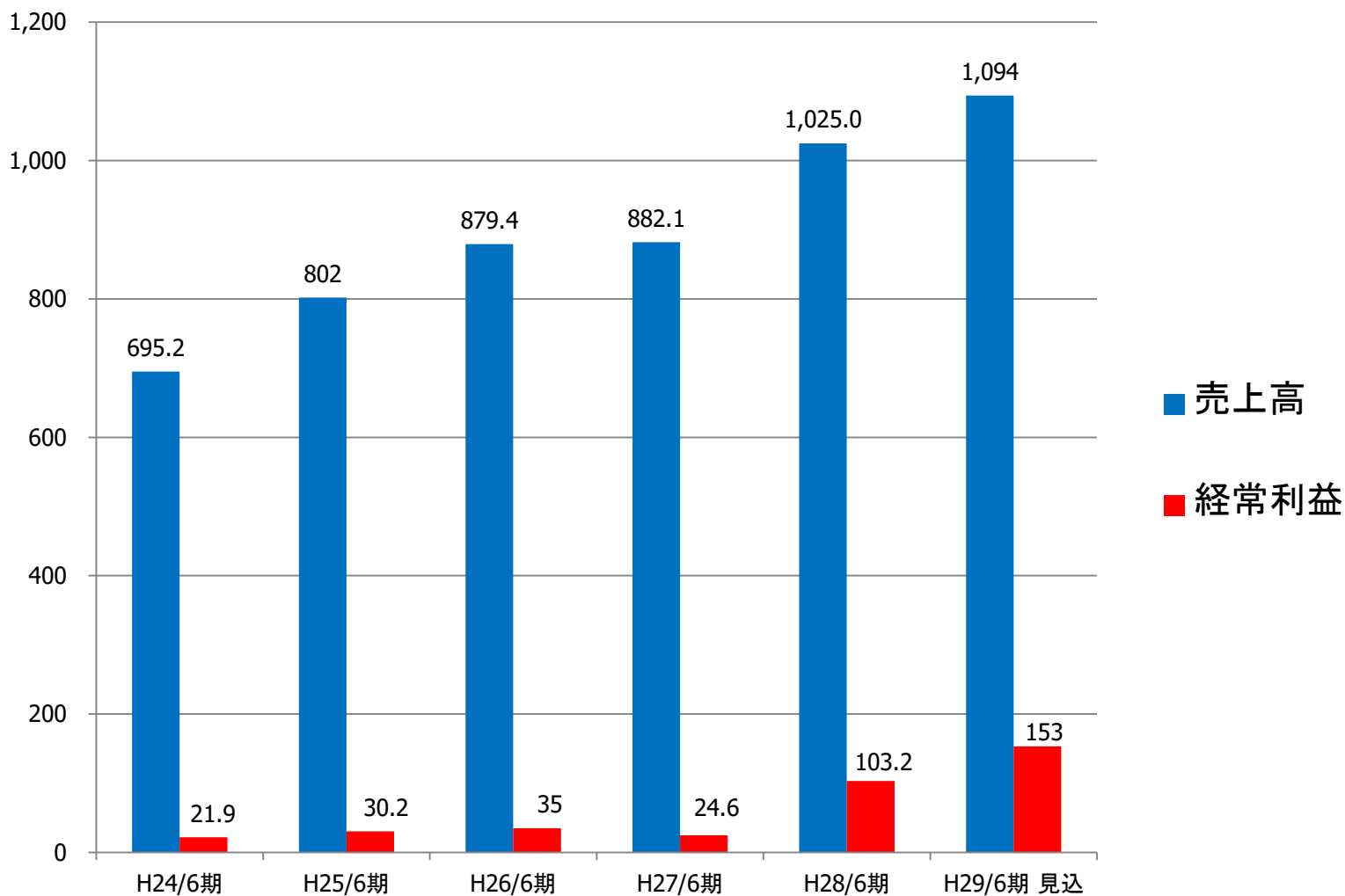
- ① 業務運営の効率化
- ② プロジェクトの管理レベルアップ
- ③ 経営の見える化



サービス業、特に労働集約型企業における**生産性向上**及び**「働き方改革」に貢献**

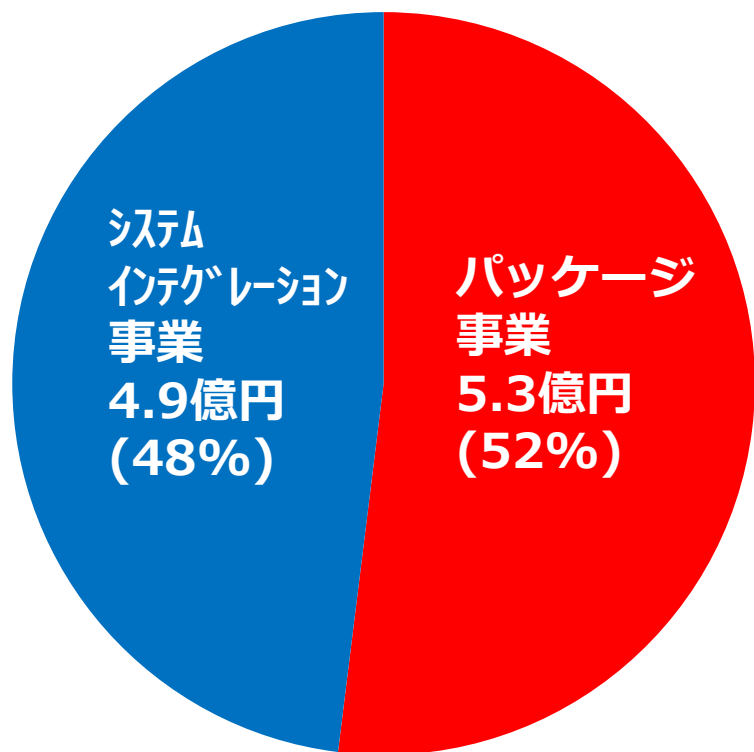
■ 売上高/経常利益推移

[単位:百万円]

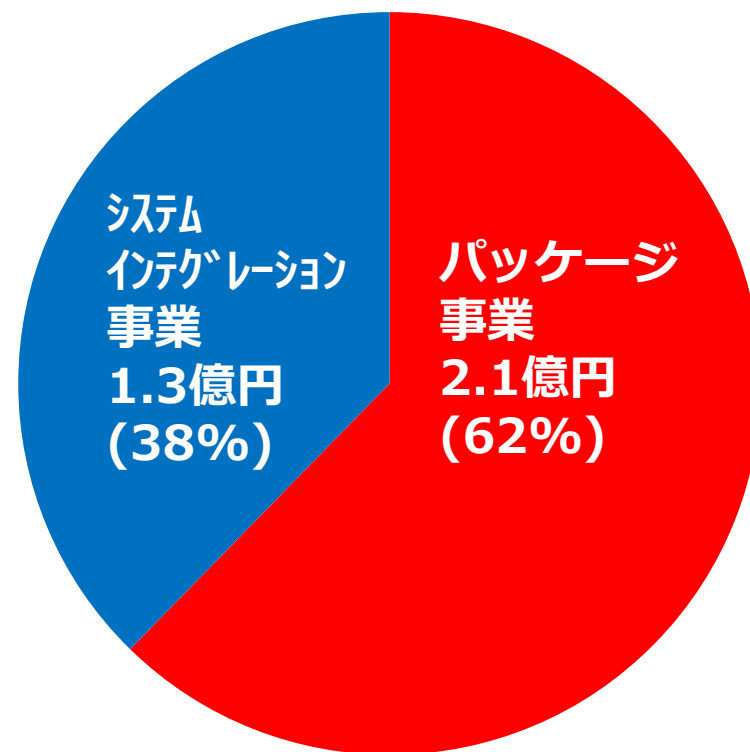


■平成28年6月期実績

売上高
(10.3億円)



セグメント利益
(3.4億円)



(注)

1. グラフに記載されているセグメント利益の他、報告セグメントに帰属しない全社費用2.4億円がセグメント利益の調整額として計上。
2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整。



2. 当社の強み

クラウドERP[MA-EYES]の強み セミオーダー



当社は「**J-Fusion**」を用いて、セミオーダーの手法でERPパッケージの導入を顧客に行っております。

「**J-Fusion**」は、**独自技術**を用いた**自社開発**の開発・稼働環境ソフトウェア（開発ツール）です。

導入手法	導入期間/導入費用	業務プロセスへの影響
スクラッチ開発 自社の業務に合わせて一から開発を行うこと	中～大 一から作るため導入期間が長くなり、 開発工数・費用大	小 業務に合ったシステムを構築するため、業務プロセスへの影響小
セミオーダー	短期間・低コスト	顧客業務に合致
パッケージ パッケージ化されたソフトウェアを購入すること	小 導入期間は短く、 低コスト	大 パッケージに業務を合わせるため、業務プロセスへの影響大





ERP（統合型基幹業務パッケージ）
= 企業における**最重要**システム

必須要件

必須要件

必須要件

基盤(フレームワーク・DB)
の正しい設計

業務に沿った機能
の正しい設計

品質の高い
正しい開発

高い開発能力

経営陣が**世界的大手ERP
ベンダー**の元技術者

サービス業の特定業種
を対象を絞り機能マツ
チ度アップ

基幹システム開発稼働環境
J-Fusionによる開発
→高い開発効率+高品質

クラウドERP[MA-EYES]の導入実績

導入実績（一部）

システム開発



インターネット



広告



コンサルティング

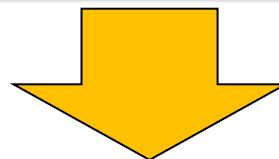


システムインテグレーション事業の強み



当社開発のオープンソース。
Java開発者向けのツール。

客観的に優秀と思われる
技術者が多数在籍



システムインテグレーション事業
の高い競争力

オープンソース公開
自社パッケージを開発
多数の技術執筆

優秀な技術者が
集まる・育つ

掲載媒体(ネット・雑誌)	掲載回数
--------------	------

@IT	14回
-----	-----

日経ソフトウェア	10回
----------	-----

CodeZine	3回
----------	----

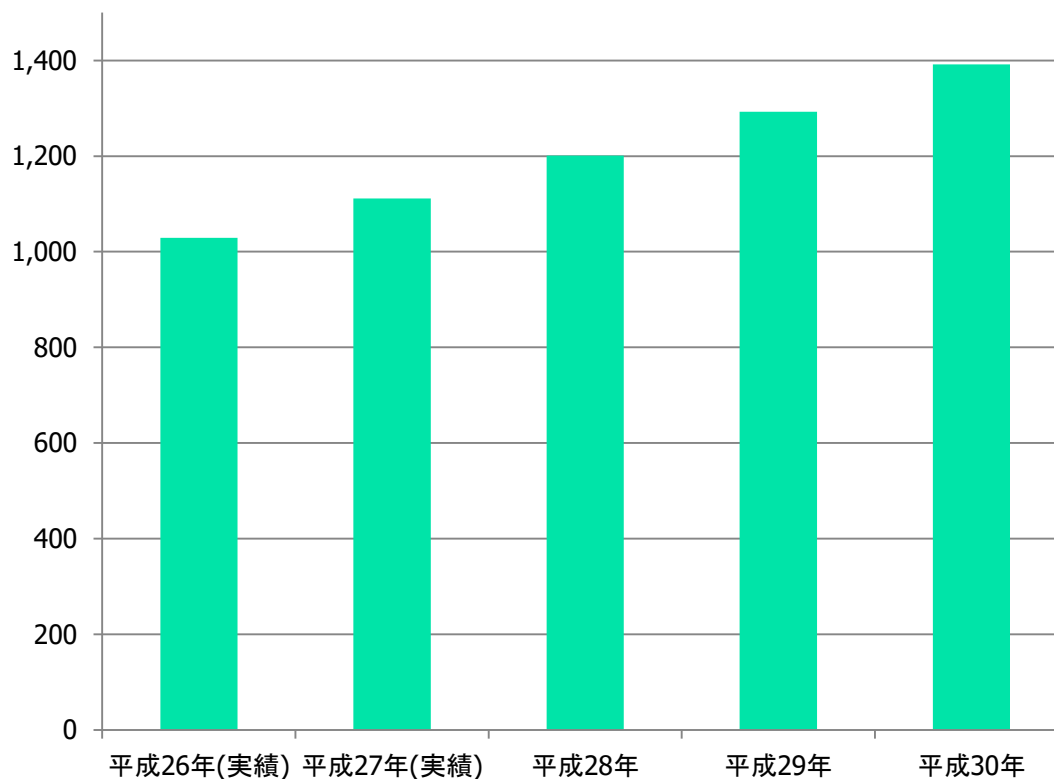
平成24年12月以降の実績



3. 市場動向

「働き方改革」などの社会的要請・日本政府の方針により、今後ますます**生産性向上**の取組みが活発となり、ERP導入市場の更なる拡大が予想されます。

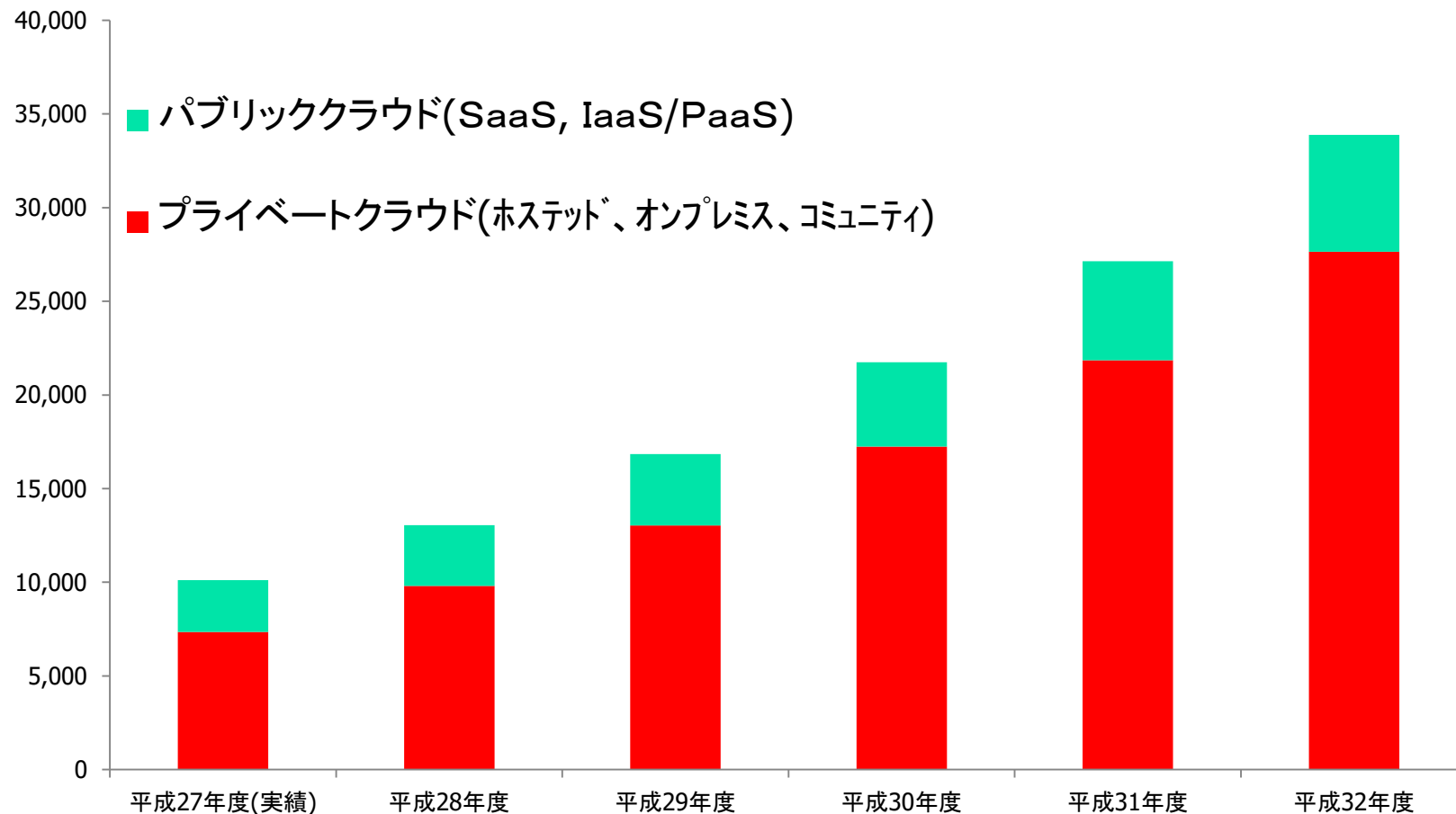
単位：億円



出典：株式会社矢野経済研究所「ERP市場動向に関する調査を実施(2016年)」(H28/8/22)

クラウドファーストの流れは今後加速

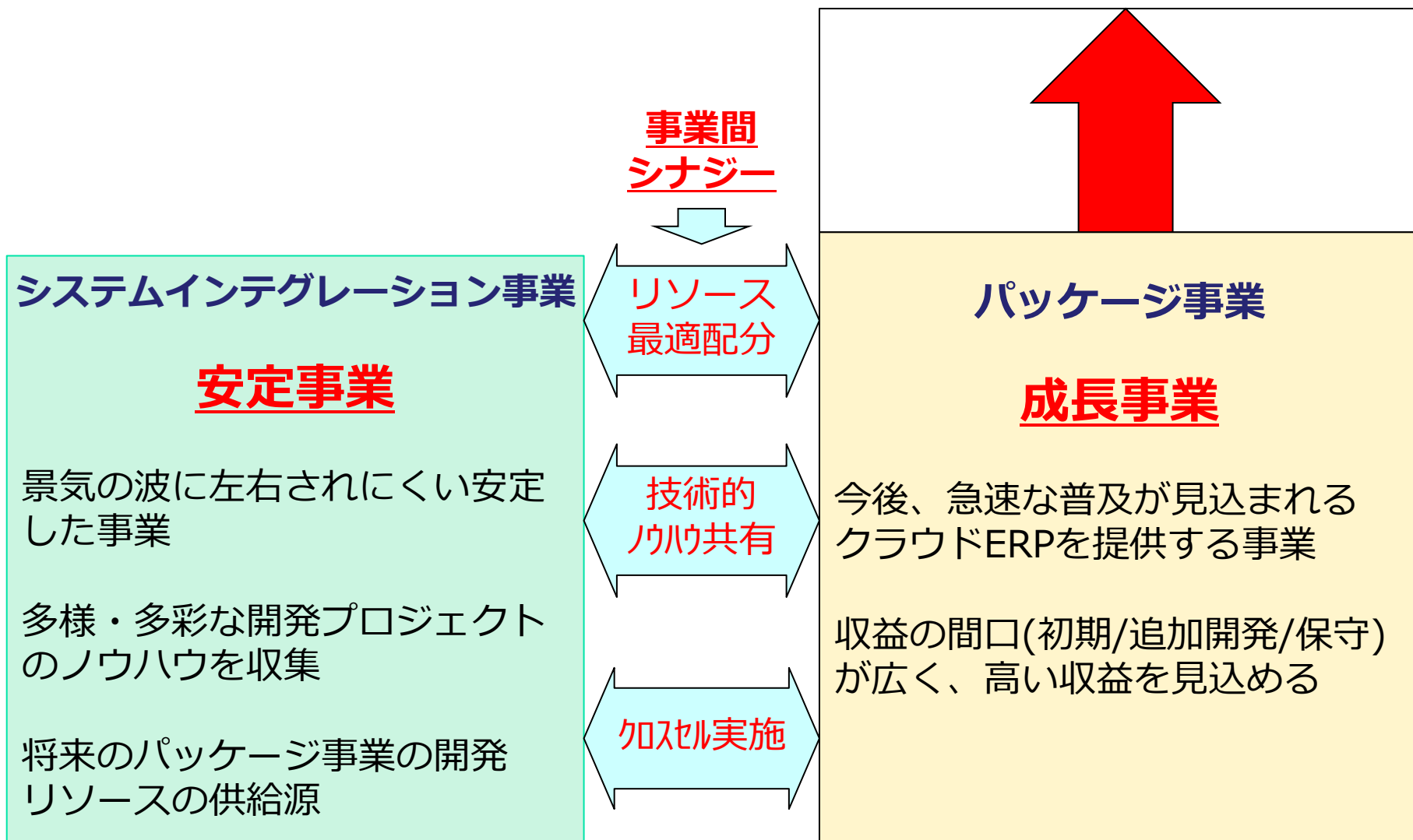
単位：億円



出典： 株式会社MM総研「国内クラウド市場は1兆円を突破」(H28/12/13)



4. 成長戦略



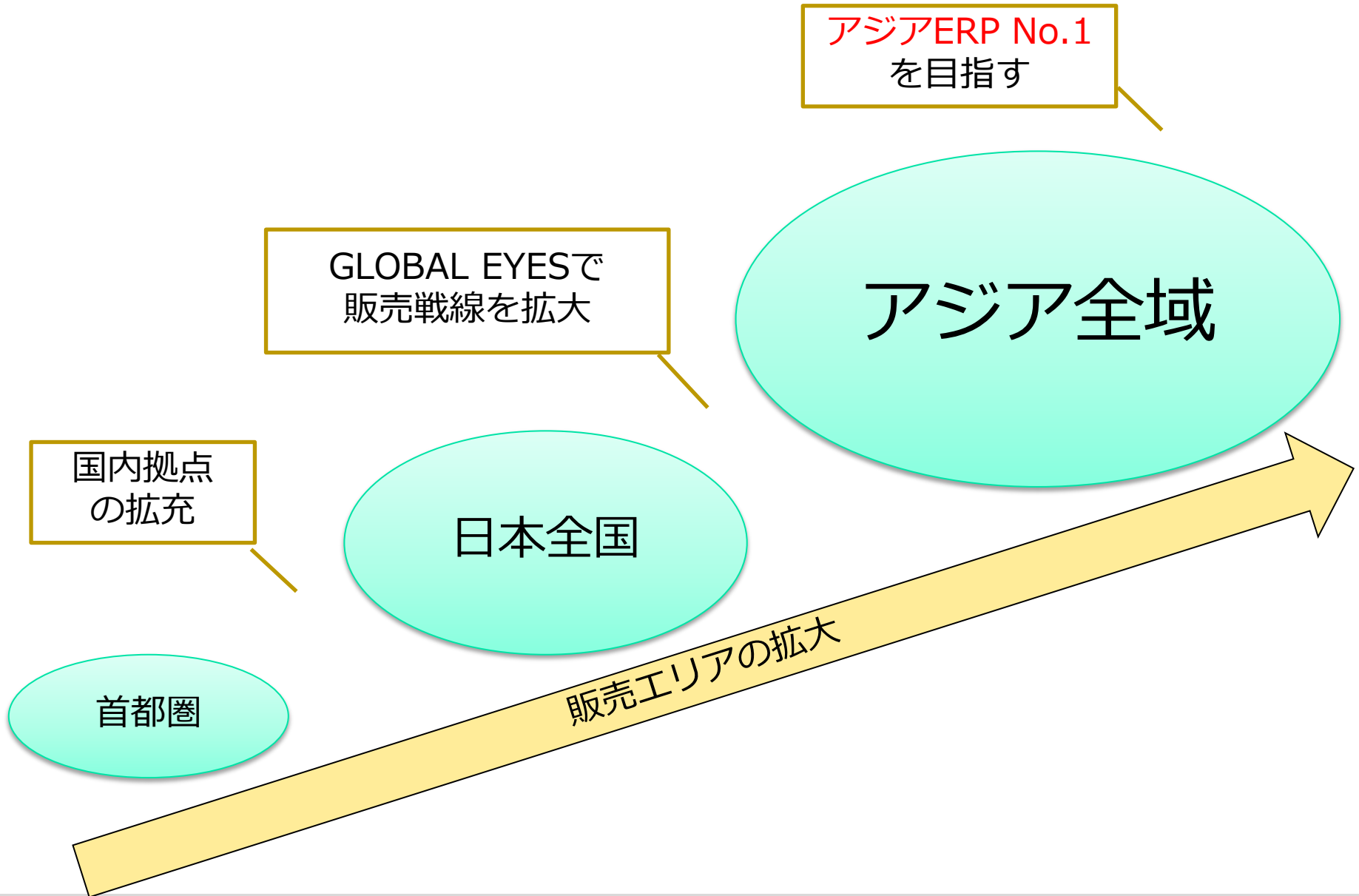
クラウドERPの対象業種の拡大

市場セグメント	企業数(100名以上)	拡大倍率
国内5業種	3,106	1倍
国内サービス業	44,228	14倍
国内全業種	58,952	19倍

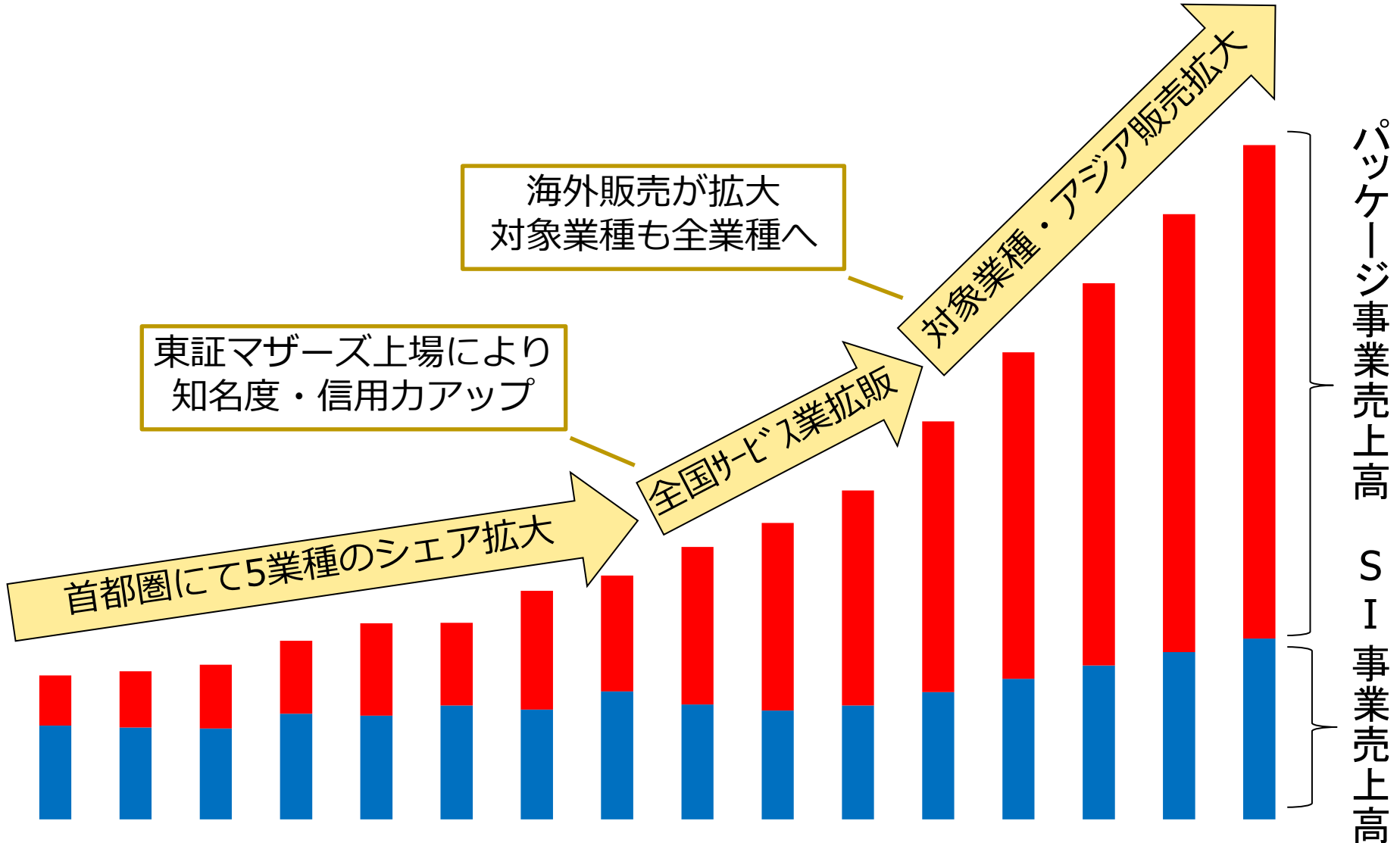
出所：経済センサス平成26年7月調べ(総務省統計局)



クラウドERPの販売エリアの拡大



事業成長イメージ（売上高）



本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、現時点における情報に基づいて判断したものです。予測や前提を含んだ内容となっておりますので、今後の市場環境や経済動向の変化によって、実際の業績が本資料と異なる可能性があります。

本資料は、投資家の皆様が如何なる目的にご利用頂いた場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用頂くことを前提にご提示させて頂くものであり、当社は如何なる場合においてもその責任は負いません。